

対メキシコ合衆国 事業展開計画

2024年 4月 現在

<p>基本方針 (大目標)</p>	<p>包摂国家の実現に向けた持続的な社会・経済開発への支援</p>											
<p>重点分野 1 (中目標)</p>	<p>経済の伸展に伴う社会課題</p>											
<p>開発課題 1-1 (小目標) 中小企業支援・地方での所得向上</p>	<p>【現状と課題】 企業による国境を越えたサプライチェーンの構築や日本企業を含む外国企業のメキシコ進出等により、メキシコが米州での一大輸出製造拠点となっている。一方で新型コロナウイルス感染症のパンデミックや地政学的状況を受けて、サプライチェーンの強靱化が重要な課題となっている。このような中、ニアショアリングの観点から、メキシコの戦略的・経済的重要性は高まっていくと予想され、それに伴う投資機会が存在すると見込まれる。しかしながら、メキシコ現地部品製造セクターの技術レベルや人材水準が投資側のニーズに及ばず、現地中小企業がサプライチェーンへ十分に組み込まれているとは言えない。そのため、半導体、バッテリー等の重要物資のサプライチェーンの強靱化を推進する必要性、ゼロエミッションに向け電気自動車等の増産への対応等を勘案しつつ、メキシコ国内においてより競争力のある部品を供給できるような現地中小企業を育成・振興することが急務となっている。また、貧困地域（地方農村部等）では、中小企業や女性の金融アクセスの低さなどが所得向上を阻む障壁となっている。</p>				<p>【開発課題への対応方針】 国内産業、特に地方産業を構成する中小企業振興は、雇用を創出し国民の所得向上に直結するため、これら中小企業の技術力向上及び人材育成等に向けた支援を行う。また、農村部を含む地方で、所得向上に向けた支援を行う。</p>							
	<p>協カプログラム名</p>	<p>案件名</p>	<p>スキーム</p>	<p>実施期間</p>						<p>支援額 (億円)</p>	<p>SDGs</p>	<p>備考</p>
	<p>中小企業支援 ・地方での 所得向上 プログラム</p>	<p>女性事業者等向けマイクロファイナンス事業</p>	<p>有償</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>50百万USD</p>	<p>1,5,8,9,17</p>	<p>海外投融资</p>
		<p>中小企業・裾野産業の競争力強化分野及び農村振興分野の課題別研修</p>	<p>課題別研修他</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p></p>	<p>8,9</p>	<p></p>
		<p>イノベーション及びスタートアップ強化アドバイザー</p>	<p>個別専門家</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p></p>	<p>8</p>	<p></p>
		<p>シエルナスを用いた持続可能な漁業に関する普及・実証事業</p>	<p>普及・実証・ビジネス 化事業</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p></p>	<p>2,14</p>	<p></p>
		<p>商業・観光(経営管理等)分野のJICA海外協力隊</p>	<p>JOCV</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p></p>	<p>8,9</p>	<p></p>
<p>農業分野での草の根・人間の安全保障無償資金協力</p>		<p>草の根無償</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>0.21</p>	<p>1,2,6,8,12, 15</p>	<p></p>	
<p>開発課題 1-2 (小目標) 持続的開発を阻害 するリスクの緩和</p>	<p>【現状と課題】 メキシコは、地震を中心とした自然災害が恒常的に発生している。2017年9月に発生した地震からの復興が進展する一方で、災害リスクへの対応能力強化が求められている。また、温室効果ガス排出削減などの気候変動対策や環境リスク（大気汚染、廃棄物の不適切な処理等）低減への対策も求められている。</p>				<p>【開発課題への対応方針】 気候変動を含む地球規模課題（生物多様性の保全、森林減少等）、経済の伸展に伴う環境リスク（大気汚染、廃棄物の不適切な処理等）及び自然災害への対策能力強化に向けた支援を行う。また、同国南部の貧困対策を行う。2022年末に採択された「昆明・モンリオール生物多様性枠組」を踏まえ、生物多様性保全に資する又は生物多様性に配慮した取組を支援する。</p>							
	<p>協カプログラム名</p>	<p>案件名</p>	<p>スキーム</p>	<p>実施期間</p>						<p>支援額 (億円)</p>	<p>SDGs</p>	<p>備考</p>
	<p>災害・環境リスク 対応プログラム</p>	<p>北中米太平洋沿岸部における巨大地震・津波複合災害リスク軽減に向けた総合的研究(SATREPS)</p>	<p>科学技術</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>5.00</p>	<p>9,11,17</p>	<p></p>
		<p>メキシコ災害リスク管理ガバナンス能力強化プロジェクト</p>	<p>技プロ</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p></p>	<p>3,5</p>	<p></p>
		<p>防災能力強化・災害対策分野、気候変動対策分野及び自然資源・エネルギー分野の課題別研修</p>	<p>課題別研修他</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p></p>	<p>3,6,13</p>	<p></p>
		<p>SDGsグローバルリーダー(防災分野)</p>	<p>課題別研修他</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p></p>	<p>4,13</p>	<p></p>
		<p>高度生物的硝化抑制(BNI)コムギによる窒素施肥量削減と環境保全及び新たなBNI強化コムギの開発</p>	<p>マルチ</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>0.77百万USD</p>	<p>1,2,9,13,15</p>	<p>農林水産省国際どう もろこし・小麦改良セ ンター(CIMMYT)拠出 金</p>
		<p>新たなBNI強化コムギの開発</p>	<p>マルチ</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>0.12百万USD</p>	<p>1,2,9,13,15</p>	<p>農林水産省国際どう もろこし・小麦改良セ ンター(CIMMYT)拠出 金</p>
<p>マヤ・トレインに関する持続可能な生物多様性の利用を通じたユカタン半島の熱帯林におけるマヤ先住民の強靱化</p>		<p>マルチ</p>	<p>2023 年度 以前</p>	<p>2024 年度</p>	<p>2025 年度</p>	<p>2026 年度</p>	<p>2027 年度</p>	<p>2028 年度</p>	<p>0.23百万USD</p>	<p>4,12,17</p>	<p></p>	

開発課題 1-3 (小目標)	【現状と課題】 平均寿命の延伸に伴い非感染性疾患の患者数が増加しているが、これに対応する医療体制は十分とは言えない状況にある。また、高齢者人口の増加に伴い2040年には高齢社会を迎えるものの、介護サービス・支援体制は未整備である。新型コロナウイルス感染症のパンデミックの教訓から、新たな感染症への対応策の必要性が改めて確認された。		【開発課題への対応方針】 医療技術の向上に資する支援及び2040年には高齢社会を迎えるメキシコにおいて、コミュニティを基盤とした包括介護の仕組みづくりの支援を行う。また、同国南部の貧困対策の支援を行う。																
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考							
				2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度										
社会的弱者支援	医療の質向上・高齢化対策プログラム	コミュニティを基盤とした高齢者の包括介護プロジェクト	技プロ	■	■							3							
		医療の質向上分野及び高齢化対策分野の課題別研修	課題別研修地	■	■							3							
		野口英世博士地域研究所感染症対策能力強化	現地国内研修	■	■							3							
		SDGsグローバルリーダー(ユニバーサル・ヘルス・カレッジ-UHC)	課題別研修地	■	■	■	■	■	■			3							
		保健分野での草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■	■						0.03	1, 3						
	教育支援プログラム	教育分野での草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	■	■						0.06	1, 3, 4, 5							
重点分野2 (中目標)	域内の知恵の連結性強化 (三角協力)																		
開発課題2-1 (小目標)	【現状と課題】 中米北部三カ国(グアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドル)等の中南米諸国の貧困や治安問題等により、米国を目指す移民がメキシコに流入している。メキシコ政府は、「国家開発計画2019-2024」と「エルサルバドル・グアテマラ・ホンジュラス・メキシコ総合開発計画」を踏まえ、移民発生の原因の解決のためにも、地域開発の安定と発展に取り組んでいく方針を打ち出している。		【開発課題への対応方針】 日本メキシコ・パートナーシップ・プログラム(JMPP)を活用し、中米北部3カ国(グアテマラ、ホンジュラス、エルサルバドル)等の中南米地域に共通の開発課題を解決するための三角協力をを行う。中南米地域の各国が抱える開発課題・ニーズに対し、メキシコが提供可能な援助リソースと第三国のニーズのマッチングを図り、必要な技術協力人材の育成及び援助実施能力の強化等に向けて支援を行う。																
	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考							
	域内共通課題への貢献	域内共通課題への対応プログラム	農業、防災及び環境分野における研修	第三国研修	■	■	■	■	■				1,2,11,12,13						
			国際公法	国別研修			■	■	■	■			16						
			国際開発協力政策支援	個別専門家		■	■	■	■	■	■	■	9,17						
日本メキシコパートナーシップ・プログラム強化プロジェクト			技プロ		■	■	■	■	■	■		1,2,11,12,13							
その他																			
その他	協力プログラム名	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考							
				2023 年度 以前	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度										
				その他個別の案件	日墨戦略的グローバルパートナーシップ研修計画	国別研修	■	■	■				■	■	■			4, 17	
					日系研修	日系研修	■	■	■									2, 3, 4, 7, 9	
人的資源(スポーツ等)分野のJICA海外協力隊	JOCV	■	■		■						3,4								

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「基礎情報調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修地」(=課題別研修及び青年研修、長期研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型、SATREPS))「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(=途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「ニーズ確認調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「ニーズ確認調査」)、「ビジネス化実証事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「ビジネス化実証事業」)、「日系研修」(=日系社会研修)、「実証」(=実証)、「破線」(=破線)、「---」(=実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。
【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」
【SDGsの詳細】 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf